

「入院診療計画書」 染色体異常の分娩前スクリーニング

氏名

様

検査法: 羊水検査

症状:

号室

	羊水検査実施前・中	羊水検査実施後	検査後1日目
	入院当日	月	日
	入院当日	月	日
目標	羊水検査が順調に終わる。	お腹の張りがない。 検査部位の痛みや出血がない。	退院後の過ごし方がわかる。
説明・指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院時病棟のオリエンテーションを行ないます。</li> <li>「羊水検査」「抗菌剤・局所麻酔薬問診表」の同意書を確認します。</li> <li>羊水検査開始時間について説明します。</li> </ul> 	<p>&lt;次の症状がある場合申し出てください&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お腹の張りが頻回、あるいは下腹痛がある。</li> <li>性器出血、破水がある。</li> <li>針をさした部分の痛み、出血がある。</li> <li>針をさした部分が、赤くなり熱をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師より、次回外来受診までの流れについて説明があります。</li> </ul> <p>退院後、頻回なお腹の張り、あるいは下腹痛を伴うお腹の張りがある。性器出血、破水等、気になる症状がある場合、臨床遺伝科外来へ連絡してください。</p> 
治療・処置	入院時、体温・脈拍・血圧の測定をします。		体温の測定をします。
検査	超音波で胎児を観察しながら、羊水を約20ml程度採取します。	検査後に医師が胎児心拍を聴取します。	 退院前に医師が胎児心拍を聴取します。 退院です。
内服・点滴	検査をする直前に、痛み止めの局所麻酔薬をお腹に注射します。	検査後は夕食後から抗生剤を内服します。 用法、用量はきちんと守りましょう。	
食事	検査当日のお昼のお食事はご持参下さい。	食事は、特に制限はありません。	
清潔	検査当日のシャワーはご自宅で済ませて下さい。		検査の次の日からシャワーを浴びられます。
その他	入院に付き添いは必要ありません。		

特別な栄養管理の必要性 有・無

在宅復帰支援計画 無・有( )

総合的な機能評価 無・有( )

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。

注) 原本患者保管・自署以外のサインは印が必要です。

年 月 日

医師名

担当以外の担当者

在宅復帰支援担当者

本人・家族署名

岩手医科大学附属内丸メディカルセンター臨床遺伝科